

安全データシート

ページ: 1/11

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 30. 09. 2025

製品: Kauropal* A

バージョン: 4.0

(30034934/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 21.10.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

Kauropal* A

用途: 化学品

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

【GHSラベル要素】:

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

GHS分類に関係しない又は GHSで扱われない他の危険有害性:

規制／注記にしたがって保管および取り扱いを行なえば、特に危険はない。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

トリス (2-ヒドロキシエチル) メチルアンモニウム=メチルスルファート

CAS RN: 29463-06-7

化審法: (2)-2416

労働安全衛生法: (2)-2416

GHS分類に寄与する成分

トリエタノールアミン

含有量 (W/W): $\geq 0.1\%$ - $< 1\%$

CAS RN: 102-71-6

化審法: (2)-308

労働安全衛生法: (2)-308

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所に移動させること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹸と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

口をすすぎ、そして200-300mlの水を飲む。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: (他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

危険有害事項: 意図された用途と適切な取り扱いをすれば、危険性はないと考えられる。

処置: 症状に応じて処置 (洗浄・機能回復) を講じる。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 粉末, 泡

[火災時の特有の危険有害性]:

有害な蒸気, 炭素酸化物, 窒素酸化物

フューム/霧の発生 火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器を着用のこと。

[追加情報]:

燃焼物および火災条件により危険度が変わる。汚染された消火用水は、法令に従い処分すること。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

非緊急対応要員の場合保護具を着用する。保護具に関する情報については安全データシート第8章を参照のこと。

緊急時対応要員の場合適切な保護対策をとること。

[環境に対する注意事項]:

容器に汚染水／消火用水を取り集める。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。

残渣の場合: 適切な吸着剤に吸着させる。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。

[追加情報]: 漏出／流出により床が滑りやすくなるので注意する。水により表面が滑りやすくなる。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

作業場では飲食や喫煙をしない。休憩前や作業終了時に手をよく洗うこと。飲食場所に入る前に、汚れた衣服や保護具は脱ぐこと。

安全取扱注意事項:

注意事項は特になし。

[保管]

不適切な包装容器材料: 紙

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して、乾燥した涼しい場所に保管する。

保管安定性:

保管温度: 5 – 40 ° C

次の温度以下にならないように保護すること: 5 ° C
製品特性は制限温度以下で不可逆的に変化する。
次の温度以上にならないように保護すること: 40 ° C
製品特性は制限温度を越えると不可逆的変化を起こす。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

物質固有の職業曝露限界値は知られていない。

【保護具】

[呼吸用保護具]:

呼吸保護具（蒸気／エアゾール発生の場合） 固体および液体微粒子に対して中性能粒子フィルター（例: EN 143または149、タイプP2またはFFP2）

[手の保護具]:

耐化学薬品保護手袋
（標準化されたもの。 例としてJIS）

[眼の保護具]:

側面遮蔽板付き保護メガネ

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

上下一体型作業衣の着用が望ましい。 作業場では飲食や喫煙をしない。 労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体	
色:	淡黄色	
臭い:	製品固有のもの	
臭いのしきい値:	適用情報なし	
pH:	7 - 8 (20 g/l, 20 ° C)	(DIN EN 1262)
凝固点:	約 -20 ° C	(その他)
沸点:	> 180 ° C	(その他)
引火点:	約 198 ° C	(ISO 2719, 密閉式)

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 30. 09. 2025
製品: Kauropal* A

バージョン: 4.0

(30034934/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 21.10.2025

蒸発率:

値は、ヘンリー則定数もしくは、蒸気
圧から類推することができる。

可燃性 (固体/ガス):
爆発下限界:

可燃性低い。 (引火点から導きだした)

分類と表示に関連しない液体に関す
るものである。、爆発下限界は、引火
点より5-15°C低い可能性がある。

爆発上限界:

分類と表示に関連しない液体に関す
るものである。

自然発火温度:

約 380 ° C (DIN 51794)

熱分解:

SDSに表記されている指示に従い使
用すれば分解なし。

自己発火性:

自己発火性なし。

自己発熱性:

UNクラス 4.2 の自然発火性物ではな
い。

爆発危険有害事項:

爆発性なし。

火災を引き起こす性質:

火災伝播性はない。

放射能:

輸送目的用に放射能はない

蒸気圧:

製品は未試験である。

密度:

約 1.32 g/cm³ (社内試験法)
(20 ° C)

相対密度:

約 1.32 (その他)
(20 ° C)

相対ガス密度 (空気):

適用情報なし

水に対する溶解性:

可溶

溶解度 (定性的) 溶媒:

極性溶媒

可溶

n - オクタノール/水分配係数 (log Pow):

-4.31 (算出)
(25 ° C)

表面張力:

データなし。

粘度:

1,430 - 1,490 mPa. s
(20 ° C)
文献データ

その他の情報:

必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

粒子特性

粒度分布: 物質/製品は固体や粒状以外の形状で流通もしくは使用されない。 -

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解:

SDSに表記されている指示に従い使用すれば分解なし。

[混触危険物質]:

強酸, 強塩基, 強酸化剤

金属の腐食:

金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:

通常の手扱い条件下で危険反応なし。

[危険分解物]:

通常の手扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:

指示通りの貯蔵と手扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 5,000 mg/kg

急性吸入毒性

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): 8 h (IRT (inhalation risk test : 吸入暴露試験))

動物実験において、前述の暴露時間内には、死亡はみられなかった。

急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン402)

急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

症状

(他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:

眼及び皮膚に対して刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (BASF試験)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (BASF試験)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

感作性なし

実験または計算によるデータ:

マウスの局所リンパ節試験 (LLNA) マウス: 感作性なし (OECDテストガイドライン 429)

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

細菌類に対して変異原性を示さなかった。

発がん性

発がん性の評価:

評価できるすべての情報は、発がん効果を示す証拠はない。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

データなし。

発生毒性

催奇形性の評価:

データなし。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

利用できる情報に基づくと、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

魚類に対する毒性:

LC50（半数致死濃度）(96 h) > 100 mg/l, ゼブラフィッシュ（学名: Brachydanio rerio）(OECDテストガイドライン203、ISO 7346、84/449/EEC, C.)

水生植物:

EC50 (72 h), 藻類

測定されていない。

微生物/活性汚泥への影響:

EC20（20%影響濃度）(0.5 h) > 1,000 mg/l, 家庭廃水由来の活性汚泥 (OECDテストガイドライン 209, 水生の)

魚類に対する慢性毒性:

データなし。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

データなし。

陸生生物に対する毒性の評価:

陸生生物に対する毒性についてのデータは得られていない。

移動性

環境区分間の輸送評価:

水面から大気中に揮発しない。

固形土壌相への吸着が可能である。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価（水中環境）：
生分解性良好（OECD基準による）

除去情報:

> 70 % DOC減少 (18 日) (OECDテストガイドライン301A（新試験法）) (家庭廃水由来の活性汚泥)

総パラメーター

化学的酸素要求量（COD）： 800 mg/g

化学的酸素要求量（COD）： 710 mg/g

生物化学的酸素要求量（BOD）： 50 mg/g

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価：
生物への著しい蓄積はないと考えられる。

その他の有害作用

吸着性有機結合ハロゲン (AOX):
本製品は有機ハロゲンを含有しない。

[追加情報]

環境面での最終到達点及び経路に関する追加説明：
生物学的廃水処理設備における処理は、法的および社内規則に従って行わなければならない。

その他の環境毒性情報：
未処理で河川等に流さないこと。 廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

13. 廃棄上の注意

国内の法令に従い廃棄するか焼却すること。
下水または排水経路による廃棄をしないこと。

[汚染された容器]:
汚染されていない容器は再利用できる。
汚染された容器は製品と同様に廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 30. 09. 2025

製品: **Kauropal* A**

バージョン: 4.0

(30034934/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 21.10.2025

	輸送規則では危険有害性物質に分類されていない
国連番号もしくはID番号	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
	海洋汚染物質: 非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

Sea transport

IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
	Marine pollutant: no
Special precautions for user	None known

航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

Air transport

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
Special precautions for user	None known

IMO機器によるバルクの海上輸送**Maritime transport in bulk according to IMO instruments**

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 30. 09. 2025

製品: Kauropal* A

バージョン: 4.0

(30034934/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 21.10.2025

海上のバルク輸送は目的としない。

Maritime transport in bulk is not intended.

指針番号: 171

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 水溶性

トリエタノールアミン

労働安全衛生法

通知対象物

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

本品は工業用品質であり、記載または合意のないかぎり、用途は工業用のみとする。上述および推奨の使用法に記載されている。他の用途については、製造業者に問い合わせること。特に、特別な基準や規制の対象である製品に適用される。

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。